

関西蓄電池人材育成等コンソーシアム 第4回本会合 議事要旨

1. 日時

令和5年10月3日(火) 13:00~14:30

2. 開催方法

オンライン (Microsoft Teams)

3. 参加企業・団体

パナソニックエナジー(株)、パナソニック オペレーショナルエクセレンス (株)、プライムプラネットエナジー&ソリューションズ(株)、(株)GSユアサ、(株)大阪ソーダ、日置電機(株)、(株)堀場製作所、(株)島津製作所、技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター (LIBTEC)、(一社)電池工業会 (BAJ)、(一社)電池サプライチェーン協議会 (BASC)

福井大学、三重大学、京都大学、京都先端科学大学、大阪大学、大阪公立大学、近畿大学、兵庫県立大学、石川工業高等専門学校、大阪公立大学工業高等専門学校、神戸市立工業高等専門学校、国立高等専門学校機構、近畿職業能力開発大学校

福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市、姫路市、関西職業能力開発促進センター、高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED)、産業技術総合研究所 (AIST)、新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)、製品評価技術基盤機構 (NITE)、文部科学省、経済産業省、近畿経済産業局

(事務局：近畿経済産業局、BAJ、BASC)

4. 議事要旨

資料1「蓄電池産業戦略の関連施策の進捗状況及び当面の進め方について」、経済産業省より説明

資料2「『バッテリー人材育成の方向性』アクションプランに係る取組状況について（進捗報告）」、近畿経済産業局より説明

資料3「産総研関西センターにおける蓄電池人材育成プログラム」について、産業技術総合研究所より説明

資料4「バッテリー産業への新規参入支援」について、(一社)電池サプライチェーン協議会より説明

資料5「蓄電池製造装置メーカーの人材育成ニーズの整理・分析及び人材ニーズに対応した人材供給メニューについて」、高齢・障害・求職者雇用支援機構より説明

資料6について、パナソニックエナジー(株)より説明

資料7「協創ラボラトリーについて」、日置電機(株)より説明

資料8「HORIBA が提供する電池材料分析ソリューション」について、(株)堀場製作所より説明

資料9「電池の取組事例紹介」について、(株)島津製作所より説明

資料10「蓄電池国際シンポジウム 2023 実施概要 (案)」について、京都大学より説明

資料11について、近畿大学より説明

資料12「大阪府立工業系高校、高等職業技術専門学校」について、大阪府より説明

資料13「N I T Eにおけるセミナー (N I T E 講座) の開催について」、製品評価技術基盤機構より説明

質疑応答・意見交換における参加者からの発言要旨は以下のとおり。

- コンソーシアムの参画機関それぞれが、プロモーションの仕組みや教育コンテンツ、試作設備等の人材育成に資する取組を進捗させている現状を理解。事務局にて、それぞれの動きをとりまとめ、全体像として整理することで、より広域への展開に繋げていただきたい。

- 蓄電池産業における人材ニーズは今後も高まっていく。現時点では人材育成プログラムへの関与が薄い地域に対しても、積極的なアプローチが必要。
- 企業における人材育成の取組状況を整理・共有できると、今後のバッテリー教育の参考になるだろう。

以上